

行政調査報告

総務委員会

(◎木村哲也、○小沢国大、稲垣守、野々川嘉則、
稲垣衿子、船橋厚、舟橋秀和、澤田勝巳)

4月11日(火) 石川県金沢市

結ネットを利用した地区役員との連絡方法

目的・理由

本市は結ネットを①市と各区長の連絡②8モデル区での区内連絡実証実験に活用しており、今後の普及に向けて何をすべきかの参考とするため。

視察項目概要

金沢市内62町会連合会のうち現在39町会連合会が何らかの形で活用している。防災訓練や福祉協議会と連携した高齢者見守りに活用する事例もある。

意見・考察

本市独自のアイデアを絞り、市公式ライン等の高い普及率の利点を活かしつつ、結ネットの普及拡大に努めることが肝要である。

4月12日(水) 富山県富山市

SDGsの推進に関する取組

目的・理由

小牧市よりも早くSDGs未来都市に選定されており、先進的な取組が見受けられることから、その手法や現状について学ぶため。

視察項目概要

2021～25年において、都市のかたち・市民生活・エネルギー・産業の分野でそれぞれ力を入れており、都市のかたちでは、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進めている。

意見・考察

行政と民間の連携により速やかに事業が実施されている。本市に反映できる良いものは共有していくことが肝要である。



福祉厚生委員会

(◎)石田 知早人、○熊澤 一敏、安江 美代子、星熊 伸作、谷田貝 将典、佐藤 悟、河内 伸一、玉井 宰)

4月27日(木) 新潟県見附市

「スマートウェルネスみつけ」の取組

目的・理由

「日本一健康なまち」を目指す見附市の取組を参考とし、本市の幸せな高齢社会の実現を図るため。

視察項目概要

自然と健康になれるようなハード整備や仕組みづくりなどを通じて「住んでいるだけで健康になれるまちづくり」(スマートウェルネスみつけ)を進めている。

意見・考察

地域で利用方法を決定できるコミュニティワゴンの導入は参考となった。健康都市実現を支える市職員の人材育成の推進は、スマートウェルネスシティ推進の力ギとなると考えられる。

4月28日(金) 新潟県三条市

「子ども・若者総合サポートシステム」の取組

目的・理由

乳幼児から就労に至るまで継続的かつ総合的な支援を行うことを目指した「三条市子ども・若者総合サポートシステム」の取組を参考とするため。

視察項目概要

子ども・若者の情報を一元化したシステムを構築し、関係機関が連携して個に応じた継続的支援を実現している。

意見・考察

子ども・若者の情報を一元化することで、縦割りによる連携上の課題を克服している。必要な支援体制の構築は市の責任であるという理念からスタートし、課題に向き合い実現している点は見習うべきである。



文教建設委員会

(◎)鈴木 裕士、○小島 倫明、諸岡 英実、山田 美代子、小川 真由美、河内 光、長田 淳、加藤 晶子)

5月16日(火) 埼玉県久喜市

ICT教育の取組

目的・理由

「小牧市学校教育ICT推進計画」の充実を図るため。

視察項目概要

児童生徒が主体的に学ぶ授業改正や情報活用能力の育成を進める中で、「久喜市版未来の教室」4+1を掲げ、端末を利用したより先進的な質の高い教育を実践している。

意見・考察

久喜市、本市ともに対面授業と端末を併用したハイブリッド授業を積極的に活用している。全国様々な取組の利点を上手く掛け合わせた指針を国が発信し、それを基に子どもたちにとってより良い教育環境を整備していくことが望まれる。

5月17日(水) 群馬県前橋市

自動運転バスの取組

目的・理由

自動運転技術の更なる加速が求められる中、先進的に乗合バスへ自動運転技術を導入しているため。

視察項目概要

限定区間での完全自動運転(レベル4)の実現を目指し、群馬大学の打診により公道における実証実験を実施した取組を視察。

意見・考察

運送・物流業界では一層の運転手不足対策が課題となる中、「こまくる」を維持するために、今後自動運転システムの導入を検討していく必要がある。

